

学校運営協議会 議事録

校名	府立 守口支援 学校
校長名	青木 康子

開催日時	令和 6年 7月 12日 (金) 15:30 ~ 17:00
開催場所	府立守口支援学校 B棟2階 図書室
出席者(委員)	長谷川 陽一会長(桃山学院教育大学教授)、佐々木 幸子副会長(守口市教育センター長)、森口 久子委員(学校医)、盛田 昭一委員(錦コミュニティ協議会会長)、東 恵美委員(門真公共職業安定所統括職業指導官)、藏満 翔子委員(PTA会長)
出席者(学校)	青木校長、古賀教頭、田鶴谷教頭、松岡事務長、下田首席、西川首席、永山首席、坂上高等部主事、南中学部主事、和田小学部主事、堀川健康安全部長、築山進路指導部長、安藤支援自立活動部長、室田研究推進部長、万代養護教諭
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 学校運営協議会実施要項 ・令和6年度 学校運営協議会傍聴規則 ・令和6年度 学校経営計画 ・各分掌年間活動計画 ・令和6年度使用教科用図書(選択・採択)一覧表
備考	

議題等(次第順)

- 1、学校長挨拶
- 2、学校運営協議会実施要項について
学校運営協議会傍聴規則について
- 3、運営協議会委員について
運営協議会会長選出
- 4、学校運営協議会会長挨拶
- 5、今年度の学校経営計画について
- 6、学校紹介動画について
- 7、各学部の様子について
- 8、分掌より活動計画重点について
- 9、今年度の採択教科書について
- 10、今後の学校運営協議会予定について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

2、学校運営協議会傍聴規則傍聴規則 第四条 四項 文末「～電源を切ること」を「～電源を切るか、マナーモードにすること」に変更の提案があり、承認された。
事務局より、昨年度から引き続き、会長を桃山学院教育大学教授 長谷川氏、副会長を佐々木 守口市教育センター長 幸子氏に依頼。承認された。

5、今年度の学校経営計画について
校長より説明。
中期目標、変更点の説明。自立・自己実現に向けた教育活動、教員の資質向上と組織力向上、効果的なICT活用、安全・安心な教育環境の確保と危機管理体制、地域連携の推進

○質疑応答(事前集約を基に)

今年度の学校経営計画について

中期目標

1 自立・自己実現(4) キャリア教育

ア 福祉サービスの利用」「成年後見人」等の2回以上の研修予定について

→現時点で予定している研修目標や内容等について簡潔で良いので教えてほしい。

(進路指導部長 築山より) キャリア教育の研修内容 中学部卒業後の進路選択や本校の職業コースについての研修を予定。教職員対象の施設見学会や福祉サービスの利用に関する研修を実施予定。12月には保護者向けに成年後見人制度についての講演会を計画。

2 資質と教育力向上について

(2) 専門性の向上 初任者等経験の少ない教員の研修について

→目標値60%以上とありますが、4月に実施された研修の状況や初任者等の様子及び今後の研修等の状況について教えてほしい。

(研究推進部長 室田より) 4月に新任者研修を実施。時間は50分、初任2名を含む25名の参加。内容は、学部の教材保管の場所、内線等の使い方など、知っておかないと困ること、研修案内の場所、支援の方法やアイデアの掲示場所などを説明。また、パディシステムを導入し、初任者が相談しやすい環境を整備。他校の研修にも参加する機会を提供している。

(4) ア ICTの効果的活用 1人1台端末の効果的活用等について

→目標値65%以上とありますが、現状の課題等について可能な範囲で教えてほしい。

(総務情報部長 西川より) 現状の課題として、電子教材の準備時間確保や電子教材作成の難しさが挙げられる。この課題を改善すべく、電子教材をストックし、教員間で共有する仕組みづくりを今年度、教材共有化PTを立ち上げてPTの中で検討している。教材共有による授業準備時間の効率化とさらなる教員の授業力向上をめざしている。1人1台 端末を使った授業では、実体験を充実させ意味づける効果があると考え。文字の書き順の動画を見て覚えてから文字を覚えたり、体育では自分の動きを映像で確認して、正しい動きに修正したりすることができる。

→今のように今日の話の中で、「ICTと実体験の両面の良いところを踏まえた授業の大切さ」といった話がよく聞かれたが、その話についてより詳しい例を教えてほしい。

(支援自立活動部長 安藤より) 小学部5年生クラスで、ある休み時間に3匹のヤモリを発見した。子どもたちはGoogleカメラを使ってヤモリの種類を調べ、ニホンヤモリだと判明。彼らはハエをエサとして捕まえようとした。大人なら調べ学習で終わってしまうところを、子どもたちはカメラを使って学びを深めていた。特に、ひらがなを理解できない子どもでもカメラの活用で調べ学習ができていた。

→校内でのAEDについて教えてほしい。

(健康安全部長 堀川より) プール学習前に必ず研修を行い、昨年度は2台目のAEDが導入されたことを報告。

→支援学校の卒業生がAIを使って志望動機を作成したが、それが本人の適性や職種に合わない内容だった。ネット上で見栄えの良い言葉を使うことができる時代だが、自分に合った表現を見つけることが重要。就職活動では、ネットで引張った作文ではなく、自分の言葉で伝えることが大切である。

→読書の重要性について。ICTの普及とともに、読書も大切にしてほしいとの要望。

→小学部1年生について、現状の様子と入学してからどのようにしてへ学校へ馴染んでいったかを教えてほしい。(返答は次回協議会)

→ヒヤリハットの取り組みについて。ヒヤリハットの掲示板設置など、積極的な取り組みを評価。

→万博について。万博の機会を子供たちの経験値向上に活用してほしいと要望。

拍手をもって学校経営計画が承認された。

9、今年度の採択教科書について

実際に使用する教科著図書を提示し、説明を行った。

次回の会議日程

日時	令和 6年 11月 1日(金) 15:30 ~
会場	府立守口支援学校 B棟2階 図書室